

御衣布御返事

文永八年

五〇歳

御衣布給ひ候ひ了んぬ。この御ぬのは一物の御ぬのにて候。又十二いろは、たぶやかに候。御心ざしの御事はいまにはじめぬ事に候へども、ときにあたりてこれほどの御心ざしはありぬともをばへ候はず候。かへすがへす御ふみにはつくしがたう候。恐々謹言。

乃 時

日 蓮 花 押

御 返 事